

# オープンサイエンス政策に 私立大学図書館は どう向き合おうか



## — 講演内容 —

① オープンサイエンスの潮流と科学と社会の変容：  
政策の狙いと図書館の可能性

文部科学省科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室 室長 **林 和弘 氏**

② オープンサイエンス政策をふまえた  
私立大学図書館の研究データ管理 (RDM)

文教大学文学部准教授 **池内 有為 氏**

日時

2024年6月7日(金) 13:00~16:00

開催方法

オンライン・オンデマンド形式併用

録画公開期間

2024年6月14日(金) ~ 7月31日(水)

※視聴用URLは別途お知らせします

申込方法

こちらのURLまたはQRコードより  
お申し込みください



<https://forms.office.com/r/ZixKcxvcqF>

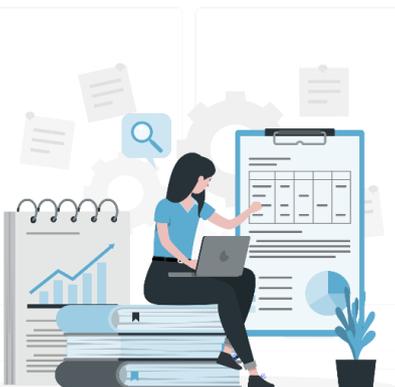


Illustration by [storyset](#)

問合せ先：私立大学図書館協会東地区部会 研究部担当理事校  
専修大学（飯泉・野村） [eastlib@acc.senshu-u.ac.jp](mailto:eastlib@acc.senshu-u.ac.jp)

# オープンサイエンス政策に

## 私立大学図書館はどう向き合うか

2024年6月7日（金）13:00～16:00 オンライン・オンデマンド形式併用

昨今、大学など学術機関ではオープンサイエンスやオープンアクセスに取り組まざるを得ない状況となっています。一方、中小規模が多い私立大学図書館では、それらにどう向き合い実践していくべきなのか、共通認識が持ちづらいのが現状です。そこで今回の研究講演会では、オープンサイエンス政策の目的や図書館での取り組みについてお話をうかがいます。オープンサイエンスを正しく理解し、大学図書館としての役割や今後のあり方を考える機会になれば幸いです。

### 1. 開会の辞 13:00



司会者 研究部運営委員 成蹊大学図書館 杉谷 季咲

### 2. 挨拶 13:05



研究部担当理事校 専修大学図書館長 廣瀬 玲子

### 3. 講演 13:10



① オープンサイエンスの潮流と科学と社会の変容：  
政策の狙いと図書館の可能性

文部科学省科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室 室長 林 和弘 氏

約15年に及ぶ学会をベースにした学術情報生産における電子化、ビジネス化、オープン化に関する幅広い経験を生かして日本学術会議、SPARC Japanなどを通じて日本発の情報発信をより魅力的にするための活動を行い、電子ジャーナルの将来と次世代の研究者コミュニケーションのあり方について興味をもつ。2012年より文部科学省科学技術・学術政策研究所に着任し、科学技術予測調査に加えてオープンサイエンスのあり方と政策づくりに関する調査研究とその実践に取り組む。国内の政策に関わる委員等で日本のオープンサイエンス政策形成を支援し、かつ国際プロジェクトにおいてはオープンサイエンス専門家として、世界における新たな学術知を生み出す基盤のトップダウンのコンセンサスづくりに貢献。一方、研究者としてボトムアップのオープンサイエンス推進活動や教育にも取り組み、研究現場の行動変容を促し、政策とのすり合わせを行っている。 [https://researchmap.jp/kaz\\_hayashi](https://researchmap.jp/kaz_hayashi)



② オープンサイエンス政策をふまえた私立大学図書館の  
研究データ管理（RDM）

文教大学文学部准教授 池内 有為（うい）氏

研究関心は、オープンサイエンスによる学術情報流通の変容を分野横断的に捉えること。2016年から文部科学省科学技術・学術政策研究所客員研究官として日本における研究データ共有、オープンアクセス、プレプリントに関する実態調査を行っている。また、オープンサイエンスの実践を推進するために、研究データ利活用協議会（RDUF）、Research Data Alliance(RDA)、日本学術振興会人文科学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター、SPARC Japanセミナー等で課題解決に向けた活動を行っている。1997年から2005年までフェリス学院大学附属図書館に勤務。

『オープンサイエンスにまつわる論点:変革する学術コミュニケーション』2023年、樹村房（共著）ほか  
<https://researchmap.jp/oui/>

### 4. 質疑応答 15:30（約30分）